



東京女子医科大学看護系 同窓会会報 VOL.23

発行年月日 2023年10月15日
発刊 東京女子医科大学看護系同窓会事務局
〒162-8666 東京都新宿区河和田町8-1
東京女子医科大学巴女子学生会館2階
twmu.nursing.aa@gmail.com

令和5年8月10日落成式
が執り行われました



東京女子医科大学彌生記念教育棟



東京女子医科大学看護専門学校

P4 総会・P6 会員支援からのアンケート協力を
お願いいたします

第23回定例総会PDFと動画公開中
ホームページから視聴可能
会員専用→PW入力→総会資料

目次

●表紙	●特集：ホームページ紹介..... 5
●会長挨拶・事業報告..... 1	●看護専門学校新主事挨拶..... 6
●理事長挨拶..... 2	●会員支援よりご協力依頼..... 6
●特集：第23回看護系同窓会定例総会報告..... 3・4	●掲示板・編集後記

会長挨拶



清秋の頃、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。猛暑が続いておりましたが、ようやく暑さが過ぎ去り落ち着いてきた今日この頃です。

第23回東京女子医科大学看護系同窓会定例総会は6月24日(土)に挙行いたしました。同窓生が力を合わせ、役員をはじめとする学内関係者の多大なるご支援に支えられ、無事に終了することができましたこと、この場を借りて深く感謝申し上げます。

総会当日は、岩本理事長、丸学長のご臨席を賜り、肥塚至誠会会長代行にはビデオメッセージをいただきました。また、内潟学校長、板橋病院長、3施設看護部長の近藤芳子様、木所篤子様、川崎敬子様のご参加をいただき、本会にとって大変心強く感じました。なお、総会の様子や詳細は、ホームページ会員専用動画・PDFで公開しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

これまでコロナ禍で自粛しておりました学生生活は、今年度より様々な活動が再開されております。学校の授業の多くは対面となり、学園祭の開催を決定、看護学部は国際交流の実施、看護専門学

東京女子医科大学看護系同窓会
会長 武田 智子(短大5回生、専攻科3回生)

校はクリスマス恒例のハンドベル演奏会を企画中など、コロナ感染状況に細心の注意を払いながら、日常の学校生活が戻ってきています。

その他の女子医大の動向は、旧看護学部の校舎跡地に研究を主にした巴研究教育棟の増設が完了し、落成式が令和5年8月10日に執り行われました。表紙に掲載した写真のように周辺の景色は大きく変化しております。

本会は、第8期のキャッチフレーズを“あなたのそばに同窓会「みえる・つながる・ひろがる」としました。「みえる存在、つながりを持ち、その点が広がり発展していく」ことをイメージしています。実現のために、①会員名簿管理(連絡先不明者の動向調査を含む)②会員の皆様へ情報を確実に届けられること③役員の日常業務と生活バランスを取り、円滑な遂行のため活動しやすい仕組みを築いています。

本会が、皆様に有効な資源として活用され、有意義な同窓会活動となるよう役員一同、努めてまいりたいと思います。皆様のご協力・ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、次回の総会は、附属足立医療センターでの開催を予定しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2022年度特別事業 COVID-19 関連事業 学生支援報告

2021年度に引き続き2022年度も、全在校生(看護専門学校・看護学部・大学院)614名に、同窓会オリジナルQUOカード(2000円)を配布いたしました。予算計上150万円 QUOカード133.5万円 余剰金16.5万円
看護専門学校と看護学部の両校にご希望のものを寄贈いたしました。



看護専門学校 ピアノカバー寄贈

看護専門学校2年生 樋口 美羽



ピアノカバーをご寄贈いただきありがとうございます。

これまでは、コロナ禍で講堂のピアノを活用する機会は、あまりありませんでした。今後、解除に伴い様々な行事で素敵なピアノカバーと共に活用する機会が増えてくると思います。

私は中学生時代、行事で弾かせていただいたことがあり、とても良い思い出として心に残っています。また弾く機会がありましたら、同窓会の皆さまに支えられていることを心に留めながら、ピアノを弾かせていただきたいと思います。

看護学部 教育用ダブルステート他寄贈

看護学部3年生 岡橋 奈々 加藤 みなみ



この度は、プレパレーショングッズ・ダブルステート他をいただき、誠にありがとうございました。

9月より小児看護学実習が始まり、早速活用させていただいております。病気や治療を受ける子どもたちが、前向きに治療・検査に臨めるような看護実践を目指していきたいと思っております。ダブルステートは、指導者と一緒に聴診することができ、不安な気持ちを確実な知識・経験に変えることができていると思います。同窓の先輩方よりいただいた教材は、実習を頑張ろうという気持ちの支えになっています。



看護系同窓会に期待すること

学校法人 東京女子医科大学
理事長 岩本 絹子

東京女子医科大学看護系同窓会の皆様方におかれましては、平素より本学そして病院の運営にご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。看護学系同窓会会長の武田様はじめ副会長の三輪様・青木様そして同窓会の皆様方には、本学看護学部・看護専門学校そして病院の運営にご理解ご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。また、令和5（2023）年6月24日には、長く続いたコロナ禍により4年ぶりに対面で第23回東京女子医科大学看護系同窓会 総会が開催され、お招きいただきまして、誠にありがとうございました。今後とも引き続き、ご支援ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、皆様ご存じの通り、本学の看護教育の歴史は、昭和5（1930）年に開設された東京女子医学専門学校附属産婆看護婦養成所を起源としており、幾多の変遷を経て、看護教育は93周年となり、現在に至っております。本学は、学祖吉岡彌生先生はじめ多くの先人の皆様によって築かれた歴史と伝統を継承し、本学は令和5（2023）年12月5日に創立123周年を迎えます。学祖吉岡彌生先生の想いにより本学は女子のみの医学教育機関であり続け、建学の精神と理念「至誠と愛」を受け継ぎ、多くの優秀な医師・看護師を世に送り出しております。

現在、皆様の後輩である看護学部学生は、令和（2020）年2月に竣工した新校舎「彌生記念教育棟」にて、医学部と看護学部の垣根なく学び、共育・協働に励んでおります。コロナ禍により中止となっ

いた本学のカリキュラムの一つである国際交流事業は、協定校との現地研修が再開され、看護学部学生は3月にハワイパシフィック大学（米国）と梨花女子大学（韓国）に派遣留学を実施しました。本学の留学生受け入れも再開され、協定校であるアルバーノ大学（米国）（5月22日～6月2日）と梨花女子大学（7月10日～7月14日）をお迎えすることができました。

看護専門学校については、足立区江北への病院移転に伴い、令和3年（2021）年11月に竣工した「東京女子医科大学附属足立医療センター」に併設した新校舎にて順調に稼働しております。コロナ禍では3年ぶりに、新校舎へ移転後初となる対面でのオープンキャンパスが開催され、事前予約を上回る186名（受験生133名）の来校がありました。

また、本学の各医療施設への内部就職率については、昨年の令和4年（2022）度は、看護学部が62.2%、看護専門学校が85.2%ですので、少しずつ増えつつあり、今後の内部就職率の更なる向上に期待しております。本学を卒業するだけでなく、本学の臨床現場で働くことによって、本当の意味での女子医大の医療を学ぶこととなります。ぜひ卒業生の皆様には、母校の発展の為に、そして、ご自身の研鑽の為に、女子医大の各病院で勤務していただき、患者様に寄り添った医療・看護を実践していただくことを願っております。看護系同窓会の皆様そして看護師の皆様には、本学の窮状を理解していただき、今後とも引き続きご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

結びになりますが、東京女子医科大学看護系同窓会の皆様方そして関係各位の皆様方の今後益々のご健勝とご多幸を祈念いたします。

2023年度より入学祝いをナースウオッチに変更

令和5年度看護専門学校新入生代表 文 柚果

この度は素敵な品をいただきまして、誠にありがとうございました。

ナースウオッチは、学内演習や臨地実習にて使用させていただきます。

全員が同じ時計を使うことで、女子医大専門学校の学生として先輩たちに見守られ、支えられているように心強く感じております。

同窓生の一員であることを自覚し、これからも勉学に励んでいきたいと思っています。



看護学部基礎看護学 講師 稲野辺 奈緒子

1年生は、入学早々に看護技術演習を学び始めます。演習中、時計は必須アイテムとして大活躍！

学生からは「授業で活用できるもので嬉しい」「デザインも可愛いく文字盤も見やすい」と喜びの声が多く聞かれています。

同窓会よりの入学祝の時計を、学生は演習中「いつも側に」持ちながら、看護師への一歩を目指し頑張っております。

この度は、素敵な記念品をありがとうございました。



特集：第23回東京女子医科大学 看護系同窓会定例総会



武田智子会長



丸義朗学長

2023年6月24日（土）、弥生記念講堂で、4年振りに対面形式で開催されました。武田智子会長の挨拶に続いて、ご来賓の顧問 岩本絹子理事長、丸義朗学長、特別会員 肥塚直美至誠会会長代行よりご祝辞を賜りました。

第1部は、以下のプログラムで行われました。

1. 前年度事業報告および今年度事業報告
2. 2022年度決算報告監査報告
3. 審議事項報告 および事前票決結果報告
4. 2023年度研究助成 目録贈呈
5. 第8期役員紹介

第2部は、基調講演『混迷の時代に求められる医療の役割と看護職に求められるもの』をテーマに国際医療福祉大学大学院 副大学院長、前公益社団法人日本看護協会 福井トシ子先生からご講演いただき、シンポジウムでは『女子医大ismとは何かを見つめなおそう』をテーマに5名のシンポジストにご登壇いただきました。

総会の様子は、同窓会ホームページに動画を掲載しておりますので、ご視聴ください。



岩本絹子理事長



肥塚直美至誠会
会長代行

基調講演

『混迷の時代に求められる医療の役割と看護職に求められるもの』

講師：国際医療福祉大学大学院 副大学院長 前公益社団法人日本看護協会
福井 トシ子 先生



変えるものと変わらないもの・変えてはならないものは、看護実践（ダイレクトケア）にあると思います。その前提にあるのは、認識論を活用した対象理解とそれに基づく看護実践です。「看護婦に必要な能力をみつめながら自ら歩きつづけることが成長を約束する」という薄井坦子先生の看護論の学びを実感しています。複雑な問題や課題を解決できるようになってきたとき、自分が成長したなと実感できます。キャリアの考え方には、ライフキャリアと職業キャリアがあります。今は、看護職のワークライフバランスが推進され、ライフキャリアも職業キャリアも両立させることが可能です。

このコロナ禍で国民に認識された3つの価値は、1. 普遍的な健康に対する価値 2. 家族とは何かを見つめ直す機会となった家族や仲間の価値 3. 看護は、社会の重要なインフラであると社会が改めて認め、看護職の処遇改善にもつながった看護に対する価値です。

少子超高齢社会によって、医療提供体制の見直しが急

ピッチで進んでいます。こうした中、職業として看護職を選択することにつながる看護の魅力、そして看護のあらたな価値は、さらなる専門性・自律性・多様性ではないでしょうか。看護職として働く場は、あらゆる場です。この場を選ぶのも自分の力です。

場を選ぶにあたっては、今まで自分達が「どのような思い込みをしていたか」整理が必要だと思います。小林富美栄氏は「国民の健康を守るのは私たちにまかせてください」と1970年代に述べています。看護のあらたな価値について語り合いたいものです。また、チームとして提供すべき価値の方向性を共有し、具体的な解決策のアイデアも出したいものです。

基調講演では、看護職一人一人が、自らの看護をどう発展させていくか、考えることのできる機会になったのならば光栄です。

皆様のご多幸と東京女子医科大学看護系同窓会のますますの発展を祈念して、基調講演を終了させていただきました。

※詳細はホームページ【会員専用 総会資料】福井トシ子先生PDF版を参照ください

第23回看護系同窓会定例総会事前表決結果報告

	送付方法	発送数	投票数	投票率
在校生	メール	621	480	77.3%
現役校卒業生	メール	990	309	31.2%
	はがき	1,558	104	6.7%
旧同窓会員	郵送	2,006	158	7.9%
total		5,175	1,051	20.3%

- 投票率：20.3%（昨年 15%）5%増加
- 学生会員の投票率：77.3%（65%）12%増加
- 卒業生メール配信数：990件（780）210件増加

メール配信者増加に伴いメールソフトを導入したことによって、卒業生の開封率が少ないことが判明いたしました。毎年同じ時期に実施していますので表決にご協力をお願いいたします。

◆当面の投票率目標 30%◆

東京女子医科大学看護系同窓会則 第14条
第4章 会議および総会 会則 会員 第14条
2. 総会は、正会員および学生会員の出席人員より成立する。
3. 議事は出席者の過半数により決定する。可否同数の時は、議長の決するところによるものとする。

審議事項	賛成	反対 ^{※1}	無効 ^{※2}
第1号議案 2022年度事業報告	1041	2	8
第2号議案 2022年度決算報告	1043	2	6
第3号議案 賛助会員の承認	1042	1	8
第4号議案 2023年度事業案	1043	3	5
第5号議案 2023年度予算案	1039	4	8

- ※1 反対の事由記載はなかった
- ※2 無効：表決を選択し、各議案が空欄、賛成反対の両方がついていたもの

第1号～第5号議案ともに賛成多数で可決

会員数 2023年9月現在

分類	学校名	登録者数 ^{※1}	連絡可能数 ^{※2}
A	1965年以前の女子医科大学看護系学校	128	60
B	附属高等専門学校→附属看護専門学校	1169	488
C	短期大学および専攻科	2244	1089
D	附属第二高等看護学校→附属第二看護専門学校	1068	441
E	看護専門学校	2062	1161
	卒業生	242	242
	在校生	2001	1157
F	看護学部	361	361
	卒業生	174	136
	在校生	17	17
G	大学院	17	17
合計		9466	5152

注1) 延べ数 注2) 実数 ※特別会員 7名 ※賛助会員 19名

※看護専門学校・看護学部の卒業生連絡先不明者リスト更新をいたしました。本会ホームページ【会員専用】より参照ください。

シンポジウム「女子医大ismとは何かを見つめなおそう」

座長：東京女子医科大学看護学部 学部長 小川 久貴子 先生

1. 「実習体験からの気づき」 濱野 愛（看護専門学校生）
2. 「実習体験からの気づき」 中水 風音（看護学部生）
3. 「私のアナザースカイ」 松原 笑（日本看護協会）
4. 「女子医大看護の付加価値」 田中 桃子（東京女子医科大学病院）
5. 「私の看護の基盤」 中村 邦子（青梅市立総合病院）

シンポジストとして参加して



濱野 愛（東京女子医科大学 看護専門学校2年生）

発表に向けて1年次の実習を振り返り、当時の感情や自分の思いなどが鮮明に蘇ってきてきました。そのことで新たな気づきがあり、「実習を振り返る」とは、まさにこのことだと実感できました。また、自分の実習に対する態度について見直すことのできる機会にもなりました。この総会を通して、自分自身が成長したように感じます。そして、学部の先輩や3人の先輩方の貴重なお話を聞くことができ、看護師という職は一生ものであるからこそ、学び続ける姿勢が必要であり、大切だと改めて思いました。

松原 笑（看護学部9回生 博士前期課程修了）

シンポジストをするにあたり自分の体験を振り返り、海外留学後、復職し女子医大の看護を改めて考えました。「助産に真摯に向き合い、自分を成長させたいと思っている人がたくさんいる」ことが女子医大の良さだと気づきました。また多様な学びを持つ他のシンポジストの経験から改めて女子医大で学んだことを忘れず自分の意思を持ち、学び続けたいと感じました。

中水 風音（東京女子医科大学 看護学部4年生）

発表内容を考える中で、自分の今までの学びや気づきを振り返ることができました。また、先生方の発表を聞き、女子医大にはこんなにも自己を振り返りながら将来を考えている先輩方がいらっしゃる知り、今後私もどう進みたいかじっくり考えていきたいと思いました。そして、今回出席したことで、今まであまり知らなかった同窓会について少し知ることができました。

田中 桃子（看護学部9回生 博士前期課程修了）

シンポジストとして参加して、女子医大で培った看護師としての思考と実践技術は、ライフステージの変化と共に職場環境が変化しても、私の基盤となることを改めて実感しました。今後深刻な労働人口不足、急速に進む高齢社会へ突入しますが、どのような状況下でも、「やっぱり何か違う」と感じる女子医大の看護の良さが、多くの現場で根付くよう精進していこうと思います。



中村 邦子（看護短大24回生）

学生時代を含め看護師人生の半分過ぎた女子医大を離れ、改めて女子医大の看護を振り返るという貴重な経験をしました。患者への尊敬を大切に真のニーズに対応するため、一丸となり理想を追求する姿勢、そして理想的看護を求め日々看護を語り、研鑽を惜しまない女子医大の文化を改めて実感しました。この看護を考える基盤は、変動する社会に柔軟に対応しながら自己の人生をも豊かにする宝物となっています。

東京女子医科大学看護系同窓会シンポジウムについて

東京女子医科大学 看護学部長 小川 久貴子



福井トシ子先生の基調講演では、「変えるものと変わらないもの・変えてはならないもの」を前提には、対象理解とそれに基づく看護実践である、と述べておられました。それに引き続く本シンポジウムでは、『女子医大ismとは何かを見つめ直す』をテーマに、同窓生5名のシンポジストにより、自身の体験を通じた気づきを話していただき、その後にディスカッションをフロアーの皆様と行いました。

在校生の濱野さん、中水さんからは、『実習体験からの気づき』についての発表がありました。コロナ禍で学内事例展開を通して、看護展開の基礎を学び、臨地で患者と接し、情報やニーズを引き出すことで、対象の個別性に応じた看護を実践する大切さの学びを得たことについて、目を輝かせて話していました。

本校病院で臨床経験を積み、海外留学、他病院転職、女子医大に復帰など、活躍の場を変えて経験している松原さん、田中さん、中村さんからは、臨床やキャリアを積み重ねることでの気づきについて発表いただきました。三様の葛藤を抱えながらも、周囲の支援を活用し、ターニングポイントを通して、女子医大で培った患者ファーストの視点や常に何が最善かを模索しながら看護実践しているところに、本学の理念に基づく「女子医大ism」が脈々と継承されていることを改めて実感する話題提供となりました。

来場者からは「学生時代の体験を思いだし、看護の基本に立ち返る機会となった」、「全国各地で色々な働き方で看護に携わっているが、やはり女子医大の卒業生として通じる看護の原点が今日のシンポジウムで実感することができた。これこそが女子医大ismなのだ」との感想が寄せられました。

同窓生一人一人の今後益々の活躍を期待しながら、盛会に終えることができました。

同窓生一人一人の今後益々の活躍を期待しながら、盛会に終えることができました。

※第23回会員総会は、PDFと動画を公開しています【会員専用 総会資料】を参照ください

総会担当後記

4年ぶりに対面による同窓会定例総会を開催いたしました。当日は104名の同窓生・職員の方々にご参加いただき、基調講演・シンポジウムでは、明日の看護のあり方や看護の基本に立ち返る機会となったとの感想が寄せられ、役員一同、改めて開催できたことの意義を実感いたしました。しかしながら、役員の方々は日常の多忙な看護業務の傍らでの開催準備に追われることとなり負担は少なくありませんでした。そこで総会の開催のあり方に関して、今一度検討すべきであると考え、この度、会員の皆さまのご意見をお伺いすることといたしました。

QRコードより、ご意見をいただけますよう、どうぞご協力をお願いいたします。



特集 同窓会ホームページをみましょう

2021年6月25日 renewal 2023.8.28で総訪問件数10000件を突破!!

Step1: 会報ページへアクセス

毎年秋に発行している同窓会会報はホームページ上で、2009年以降の閲覧が可能です
閲覧方法: 「同窓会について」→「会報」順にアクセス



Step2: 会員専用ページへアクセス

「総会資料」→ 毎年開催する総会案内・資料を掲載
「写真館」→ 同窓生からいただいた写真などを掲載
「アーカイブ」→ 女子医大や本会の歴史を語るうえで、史料価値が高いものを掲載
「会員連絡先不明者リスト」→ 会員調査実施時に活用他に「看護専門学校専用」「看護学部専用」「大学院専用」

ホームページはこちらから →

会員専用ページ
パスワード twmu2023

PWは毎年変更

<https://dousokai.site/twmu-nursing/>



写真館・アーカイブ新旧記事の紹介

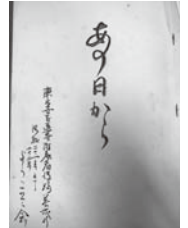
～10周年記念誌～ 碧会作成 S.50
東京女子医大学附属高等看護専門学校



資料提供: 本同窓会第6期会長 三家本 洋子様

～あの日から～ ようこそ会有志作成作成 S.52
東京女子医専附属産婆看護婦養成所 S.21, 22 卒業生

昭和20年空襲で寄宿舎が焼けて本院本館での生活が始まった。早くの掃除から器械器具のみがきものや診療の準備となんでもやっただし、なんでもやらなければならなかった。～中略～
仕事を続ける限り自分も勉強の毎日と考え、幸に健康にも恵まれて、働くよるごびも若い青春の時代の苦難であったからこそ。これからも努力すればできるのではないだろうか。「あの日から」一部抜粋



資料提供: 故 和田 クニ様 ご家族より寄贈

故 西尾(松本) 當様ご家族より寄贈

卒業アルバム



昭和16年(1941年): 日本が太平洋戦争に参戦、12/8日本海軍はハワイの真珠湾を奇襲攻撃
昭和17年(1942年): 4/18 B-25 16機が日本本土へ初空襲、荒川区東尾久や新宿区早稲田中・高等学校も被害
昭和18年(1943年): 6/25「学徒戦時動員体制確立要綱」を決定、10月学徒出陣、学生の徴兵猶予停止
昭和20年(1945年): 3/10東京大空襲、8/14ポツダム宣言の受託を決定、8/15「終戦」が国内外に伝えられた

※その他にもお写真などの寄贈されたものは、順次写真館やアーカイブに掲載予定です。ぜひ、ご覧ください。

故 篠根(内山) 槇子様ご家族より寄贈

彌生先生の訃報新聞記事



史料室にもなくとても貴重なもの

五行の橋 篠根槇子全詩集 晩年の写真
装絵 内山輝雄画伯(実兄)



晩年、本会総会にお孫さんとご参加をしていただきました

ホームページ紹介の編集をおえて

中野 真子 (看護学部16回生)

7年前、看護学部を卒業して、そのまま本院へ就職。新人で仕事がつらいとき、先生たちに話を聞いてほしくて。学部のかわいい後輩に会いたくて。気が付くとふらっと職場の横にある学部へ何度も遊びに行った。いつでも暖かく卒業生を迎えてくれるのが、女子医大らしい。そんな愛校心がある私も、看護系同窓会の活動に関して詳しく知らなかった。職場の尊敬する先輩に誘われて、同窓会役員となって初めての仕事がホームページの紹介。おや、何も知らないぞ。と焦りながらホームページを開いてみる。最初は開くのも精一杯だったが、アクセスしてみると諸先輩方の活躍とともに女子医大の看護と歴史をふりかえることができた。

今回、編集にあたり最も印象的であったのは、戦時中の怒涛の時代においても人々のために献身的に看護をする諸先輩方の姿だ。戦争、空襲、食糧難の時代に入学した彼女たちは、戦機に目立ちやすいからと憧れの白衣も着れず、モンペ姿で看護に従事していた。戦火で教室も教科書もなかったが、熱心に看護と向き合っていた時代であった。

(思い出集「あの日から」)手記を読んだ私は思わず鳥肌が立った。恵まれた時代と環境に、ただただ、ありがたさを感じた。また、今も続くウクライナでの戦況をニュースで見聞きし、この現代においても、その現場で働く医療者がいる現実、平和を願わずにはいられない。看護師として当たり前のように働いていることが、当たり前ではないことを改めて痛感する。戦時中と現代と状況は違っても、様々な病気を抱えて生きる患者とその家族に寄り添い看護する姿は、まさに至誠と愛を体現しているようである。お会いしたことはない諸先輩方の文章は、看護への愛情に溢れており、女子医大での教えは、代々受け継がれていることを実感した。

女子医大は卒業生に広く開かれており、いつでもふと帰ることができる場所、初心を思い出させてくれる場所だと思っている。

卒業生であることを誇らしく思うとともに、看護系同窓会を通じて、これからも同窓会生のご縁が広がっていくことを願って。





看護専門学校主事 就任挨拶

東京女子医科大学 看護専門学校主事 前田 美那子

本年度4月より、東京女子医科大学看護専門学校 主事に就任いたしました前田美那子です。同窓会の皆さまには、就任の折、綺麗なお花を頂き大変感動いたしました。改めて御礼申し上げます。また、例年入学生や卒業生には今後へのエールを込めた贈り物、コロナ禍においてはオンライン授業が少しでも円滑にとパソコンを寄贈いただき、同窓会の皆さまに見守られ支えていることを感じております。日頃より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私は看護学校を卒業後、本院消化器病センターに就職をし、他の病院での経験を経て看護基礎教育に携わってまいりました。活動の場が変わっても、女子医大で学んだ看護がその基盤になっていると感じながら学生と向き合い、女子医大でその経験を活かしたいと考え2014年本学に再度入職をし、現在に至ります。

本校は約3000名以上の卒業生が巣立っている伝統ある学校で、その主事という役職の大きさに身の引き締まる思いで一杯です。未熟ではございますが、同窓会の皆さまや諸先輩の手助けをいただきながら、築き上げてきた伝統を大切に、「至誠と愛」を持った自立した女性を育成するために精一杯務めたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

会員支援からのアンケート協力のお願い

会員支援では、8期同窓会キャッチフレーズ「みえる・つながる・ひろがる」の活動として、同窓会のネットワークを生かし就業継続や就職支援につなげ、個々のキャリア形成促進の一助になればと考えています。

以下の4点に関する企画の素案と参考情報、アンケートとなっております。

1. 動画作成に参加していただける方 自薦他薦は問いません
2. YouTube 動画配信企画案に関するアイデア
3. 貸与型キャリア支援に対するご意見
4. その他の会員支援に関するアイデア

ご協力および忌憚のないご意見をいただけますようお願いいたします。【会員支援担当】

アンケートはこちら



QRコードはハイパーリンク

2023年度研究助成採択者2名のご紹介

※総会にて目録贈呈

阿部 頼子（東京女子医科大学大学院看護研究科小児看護博士後期課程）助成額10万円
「医療的ケア児を在宅で養育している家族の家族レジリエンスのプロセス」

稲野辺 奈緒子（東京女子医科大学看護学部基礎看護学講師）助成額18万円
「シンクアラウド法による観察力の評価—病棟看護師、看護学生、一般大学生の比較—」



訃報

西尾（旧姓 松本） 當 様（東京女子医学専門学校附属産産看護婦養成所1944年卒）2023年5月3日（享年98歳）

※会員専用ページに、ご息から寄贈いただきました貴重な昭和18年の卒業アルバムを掲載しておりますのでご覧ください。

※2023年7月27日東京女子医科大学史料室の学芸員立会いのもと貴重な資料を寄贈いただきました。



謹んでご冥福をお祈り申し上げます



掲 示 板

※下線部分はハイパーリンク

東京女子医科大学看護系同窓会9期役員募集

期間：2025年6月総会以降～2028年6月総会まで
◆募集人員【理事】13名、【代議員】8名、【監事】2名
同窓会の活動にご興味のある方は、ホームページ「お問い合わせ」より、ご連絡をお持ちしております
※同窓会の会則や活動内容はホームページをご参照ください

東京女子医科大学看護系同窓会総会ご案内

第24回対面開催予定

日時：2024年6月29日（土）
会場：附属足立医療センター大講堂
※詳細決定次第ホームページへ掲載予定



看護系同窓会オリジナルグッズ販売

ご購入の方は、ホームページ【グッズ販売】からお申込みください。

※学外からの申し込みの場合、ゆうパック料金の送料がかかります



紺ユーティリティバック A4縦型	1袋	600円
クリアファイル_7色	1枚	30円
ポストイット_ピンク50枚綴り	1個	200円
ナースウォッチ_電池3年寿命	1個	1300円

東京女子医科大学図書館利用ご案内

学外会員利用時には、**本会会員証が必要**です。
会員証をお持ちでない方は、ホームページ「お問い合わせ」より、タイトル「会員証発行依頼」、氏名（現姓・旧姓）・生年月日・卒業学校名・卒年（ご不明な方は不要）を記載のうえ、お申込みください
※ご利用の際は、図書館HPをご確認のうえご利用ください

東京女子医科大学大学院看護学研究科 募集のご案内

毎年応募の期間
第1期 7月頃
第2期 12月頃
※詳細はQRコードよりご確認ください



東京女子医科大学看護師・助産師募集

診療看護師募集

「領域は希望に沿います」

※正職員・臨時職員
「勤務時間・勤務地は要相談」

<勤務地>

- 東京女子医科大学（本院）
- 東京女子医科大学附属足立医療センター
- 東京女子医科大学附属八千代医療センター

お問い合わせ先 看護職雇用対策チーム
電話番号 03-5269-7462
メール recruit-nurse.bm@twmu.ac.jp



東京女子医科大学法人寄付金のお願い

寄付の種類

- > 創立120周年募金～125周年に向けて～へのご寄付
- > 遺贈による寄付
- > 各種寄付金詳細 etc.

※詳細はQRコードよりご確認ください



東京女子医科大学看護学会 第20回学術集会のご案内

日時：2024年10月5日（土）
会場：弥生記念講堂ほか ※対面（一部オンライン検討中）
大会長：吉武 久美子（東京女子医科大学看護学部教授）
テーマ：第20回記念
「つなぐ力と創造する看護
—これまでとこれから—」
※詳細は看護学会ホームページにてご確認ください

第66回日本母性衛生学会 学術集会 テーマ：「母性衛生が拓く母子の笑顔」

会期：2025年10月
10日（金）11日（土）の2日間
会場：京王プラザホテル（新宿区）
大会長：小川 久貴子
（東京女子医科大学看護学部長）
※大会抄録等への広告や寄付を募っております。ご協力をお願いいたします
学術集会事務局：東京女子医科大学看護学部
実行委員長 飯塚 幸恵



連絡先住所届けのお願い ❖❖メール配信希望者も登録ください❖❖

お知らせや会報など円滑にお届けできるよう、住所・メールアドレスなど変更された方は、速やかにご連絡をお願いいたします。
今後、**電子化を進めていくため**、同窓会からのお知らせをmailでお受け取り可能な方は、必ず、**QRコードより申請をお願いいたします。**
（または、同窓会事務局メールアドレス宛にメールでも可能；twmu.nursing.aa@gmail.com）



編集後記

会報誌23号をお読みいただきありがとうございます。4年ぶりの対面形式での定例総会が無事終了ことに安堵しております。今回の会報は8期のキャッチフレーズ「みえる・つながる・ひろがる」をもとに、特集は総会報告とホームページの紹介といたしました。この会報編集を通じて、役員2年目の私自身も同窓会活動をすこし理解したように思えます。ぜひ、役員と共に会員の皆さまのお力をお借りして本会の活動を盛り上げていかれることを願っております！

そこで、連絡先不明の卒業生を探しています。連絡先不明の卒業生を見かけましたら、ホームページから住所登録をしていただければ、ぜひお声がけをお願いいたします。

末尾になりましたが、今回ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。

【会報プロジェクト】